

台東区ジュニア・オーケストラ

台東区ジュニア・オーケストラは、青少年の情操と協調を養うこと、台東区の文化発展に寄与することを目的に、昭和55年12月20日に設立されました。現在は小学生から高校生まで141名の団員が在籍しています。

発団の当初より、区民の皆様により親しまれる演奏、親しまれる楽団を目指し、幅広く活動しています。定期演奏会やファミリーコンサート、台東区内小・中学校への巡回演奏会などを通じて生の楽器による演奏の魅力、クラシック音楽の楽しさを伝えています。

近年では「東京都美術館開館80周年記念演奏会」「東京文化会館50周年記念演奏会」「第65回“社会を明るくする運動”講演と音楽のつどい」などに出演し、好評を博しています。平成29年には台東区制70周年記念事業の一環として、現存する区立小・中学校26校の校歌を指揮者宮崎進の編曲により、オーケストラ演奏し、校歌集CDに収録しました。

台東区ジュニア・オーケストラでは演奏技術だけではなく、音楽を通じた人間形成を重視しています。そのために集団活動において主体的に、かつ協調性を持って行動できる力を養うことも大切にしています。

今年は創立38年を迎え9月2日（日）に浅草公会堂で行われる定期演奏会に向けて、団員は日々の練習に励んでいます。本日は会場にお越しくくださった皆様に音楽の素晴らしさを感じ、感動していただけるように心を込めて演奏をいたします。



指揮者 宮崎 進 (みやざき すすむ)

昭和55年の台東区ジュニア・オーケストラ発団当初より指揮者として指導にあたり現在に至る。台東区ジュニア・オーケストラの活動では、発団の趣旨である青少年の健全育成を旗印に、音楽を通しての人間形成が指導の第一歩と考えています。聴いてくださる人々に感動をもたらすより素晴らしい演奏をめざし指導にあたっています。

副指揮者 横沢 源 (よこさわ げん)

平成14年より台東区ジュニア・オーケストラに幹事として加わり、現在では副指揮者として指導にあたる。指導においては、生涯に渡り音楽を愛好する子供たちの育成を目標としています。今回の演奏会では、管弦楽の魅力をつぶり味わってもらおうとエルガーとチャイコフスキーの作品を取りあげ練習を重ねてきました。